

平成29年度
優秀賞

城山観光株式会社

会社概要

城山観光株式会社は、昭和23年に創業し、ホテル宿泊の他、宴会、披露宴などでも利用されており、従業員数はパート等も含め約800人である。

なお、太陽光発電(49kW)を導入し自然エネルギーを利用した4年間累計の発電電力量は、206,365kWh(H25.7.19~H29.7.12)で、CO₂削減量は、年間27.1ト(0.525t-CO₂/千kWh)である。

削減実績

二酸化炭素排出量削減率9.6%達成(平成25年度比)

※電力排出係数の変動の影響を考慮し、電力排出係数を基準年度(平成25年度)に固定して実績排出量を算定し、計画期間(平成26年度~平成28年度)の平均排出量を評価した。

実施した対策

全従業員による削減活動の実施

省エネ委員会を年3回開催し、全社的活動の推進(クールビズ、エアコンフィルター清掃、空調温度設定遵守等)、設備導入の検討や運用の見直しを行っている。また、毎月の会合等を通じて各部署、スタッフに情報伝達され、スタッフの意識付けをしている。

また、設備の維持管理には、外部委託による専門のスタッフが常駐し、点検や異常時の対応を行っている他、省エネ診断を受けて、今後更なる運用対策を図るなど、省エネ対策の推進に積極的に取り組んでいる。

設備の省エネ等

エアコンの室外機にエコネット(黒色のネットを室外機の一部に取り付けたもの)を設置し、夏場は直射日光を避け、冬場は北風の強い冷気を遮断することで、消費電力を抑え、省エネを図っている。

冷凍、冷蔵庫及びパッケージエアコンは、年4~5台を省エネ型へ更新を進め、ボイラーや冷凍機は、旧型から新型の設備に更新する際には、高効率設備を導入し、台数を減らしている。また、ヒートポンプ給湯器の導入も行い、旧型と新型の稼働運用については、今後、使用状況のモニター装置を活用し、無駄を無くし、省エネに繋げていくこととしている。空調設備の設定温度は、季節毎の指標を設け、その時間の気温等も考慮して計画を作成し、プログラムすることで、適切な温度を保っており、設備更新に併せて適した設定となるよう検討・改善を継続している。

照明設備の省エネ

照明電球のLED化を進めており、全体の66.7%が更新済みであり、施設全体の90%の照明をLED化する予定としている。

また、バックヤードの人通りの多い通路は、LED照明に更新済みで、トイレには人感センサーを設置し、必要な時だけ点灯し消し忘れの無いよう、事務室や調理室の照明は、LED照明に更新済みで、照明一つ一つに点消灯用の紐が付けられ、不必要な時は消灯するように取り組んでいる。

今後は、高効率設備の更新を計画的に進めるとともに、省エネ診断等を活用して省エネ対策に取り組む予定である。

省エネ推進活動実施中

- ☆階段を利用して健康増進
 - ☆空調の温度設定を夏期は十二度・冬期は一十二度で設定
 - ☆会場を離れる時は空調・照明を最低限で
 - ☆こまめな清掃で空調機器の運転効率化を
- パンケットは全スタッフで省エネ活動を実施します。
- パンケット省エネ活動委員

省エネ活動



LED化



高効率設備機器